



新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

幸せに生きるエッセンス

校長 永浜 裕之

私たちが生きる現代社会は、終わりが見えないコロナ禍が続き、戦争も終結が見通せません。格差や差別も解決できていません。予測不能で不確実な世の中を生きるためには、何か拠り所が必要です。人それぞれの拠り所＝精神的支柱は異なりますが、回答の一つが、先人の知恵を私たちの生き方に活かせる「哲学」です。エミール・シャルティエ（アラン、1868～1951、仏）、バートランド・ラッセル（ラッセル、1872～1970、英）、カール・ヒルティ（ヒルティ、1833～1909、スイス）の3人の哲学者が著した、いわゆる「3大幸福論」をもとに、幸せに生きるためのヒントを書きます。

哲学書に記されていることは、先人が経験し、考え抜いてきたものです。哲学者も私たちと同じ人間であり、人生に思い悩み、様々な経験をし、苦しみや辛さを味わってきました。そして、「人として立派に生きるということはどういうことなのか？」のような疑問を抱き、考え、ようやく自分なりの世界観や人生観に到達したのが、哲学者それぞれの哲学です。

若い皆さんは今、人生を知り始めています。自分には理解しづらい事や、世間の冷たさや厳しさ、不思議さといったものに戸惑う場面もあることでしょう。哲学の考え方やものの見方が、問題解決に向けた突破口となったり、勇気や希望、救いになってくれたりすることを期待します。

3人の哲学者は共通して、「**生きることは、それだけで素晴らしい**」と言っています。物事の本質を前向きに捉えることを繰り返すことで、物事に対する見方が変わり、幸せになるためのエッセンスを得ることができると言っています。言い換えれば、心の持ち方＝考え方ひとつで、日常を楽しむことができる。つまり、「**幸せになるためのカギは、ほかでもない、自分自身が持っている**」と言っています。

「幸せだから笑っているのではない。笑うから幸せなのだ。（アラン）」

アランは、怒りや絶望に時間を割くのではなく、物事を深く考えた上で、あえて明るく振る舞うべきだと説いています。厳しい現実を認識しつつ、それに立ち向かう「くじけない楽観主義」を説いたのです。悪い結果や問題点をあげつらい、後ろ向きになっているのは、新しいこと、面白いことに挑戦できないと言っています。

「愛情を受ける人は、大まかに言えば、愛情を与える人でもある。（ラッセル）」

ラッセルは、「幸せは転がっているわけじゃない。趣味をはじめ、好きなことに没頭して。」と強調します。自分の欠点ばかりを見つめていても良いことはない、外に目を向けて面白いことや喜びを感じるものに会うことの大切さを訴えています。

「いくぶん逆説的に言えば、不幸は幸福のために必要だ。（ヒルティ）」

ヒルティは、働くことで得られる喜びこそが幸福をもたらすと説きます。仕事を苦痛なものだと捉えずに、経験を積みながら仕事を続けることが喜びにつながるとしています。また、挨拶などの小さなことでも、人の役に立つことで、自分も他人も幸福にすると説いています。

生きるには困難や苦しみがありますが、意識的に、思考を前向きに肯定的にコントロールしたいものです。とはいえ、上手いかないうちが多く、生きていくのが大変だということは事実です。そこで、「負け惜しみ」を紹介します。

キツネが森の中を歩いていました。すると、おいしそうなブドウがブドウ棚からたくさんぶら下がっていました。キツネは、なんとかして取ってやろうと思いました。でも、ブドウ棚は高くでどうしても手がとどきません。キツネは、「**あのブドウは、まだすっぱいのさ**」と、ひとりごとをいって、どこかへ行ってしまいました。

このイソップ寓話で学ぶことができるのは「負け惜しみ」です。「負け惜しみ」は、思い通りにならなかったときに言い訳をしたり、強情を張ったりすることです。心理学では「合理化」と呼び、もっともらしい理屈で自分を納得させる行為をさします。潔くないと捉えられがちですが、私は不安や葛藤を解消するために「悪くない行為」だと考えます。

先頃発表された松任谷由実さんのベストアルバムを買い、久しぶりに「潮風にちぎれて」という曲を聞きました。

この曲は、海辺を舞台にした失恋の歌で、こんなフレーズがあります。「**あなたと来なくなつて／私はもともとから／この海が好き**」。好きな人と来たかった海に、一人で来ている切なさや強がり。次に踏み出そうという意志が素敵です。公開中のアニメ映画「ONE PIECE FILM RED」。「**でた、負け惜しみ**」というセリフが、何回も出てきます。

「禍福（かふく）は糾（あざな）える縄のごとし」と言います。災禍と幸福は、縊（よ）り合わせた縄のように表裏一体であり、一喜一憂しても仕方ありません。「負け惜しみ」と言われても、強く生きていきていけたら、と考えます。

第32回山吹祭「Bright 明るい・輝け」～文化祭実行委員の取り組み～

生活指導部担当

今年度の文化祭はコロナ禍のため、入場者を在校生・家族と、入学希望者・家族に絞って実施しました。申し込み開始までどの程度の参加が見込めるか不安もありましたが、当日は定時制・通信制の学校説明会参加の中学生・保護者の方を含め1,500名（本校生徒を除いても1,200名）以上が来校し、盛況な文化祭となりました。無事開催でき、とても嬉しく思います。

今年度は、昨年度から引き継いだ試みに新たな工夫を重ね、テーマの「bright 明るい・輝け」に沿った、生徒の個性が明るく輝く自由闊達な文化祭を目指しました。頑張って文化祭を成功させてくれた実行委員の皆さんに代わって、山吹だよりの紙面をお借りして主な実行委員の活動成果を共有します。

＜パンフレット・ポスター・文実新聞＞

今年度は、デザインから製本まで100%自校作成のパンフレットになりました！昨年度より多くの来客を見込んだ大量の印刷と製本は本当に大変でしたが、広報部の委員中心にきっちり間に合わせてくれました。また、今年度は文実新聞も作成し、全校生徒に配布して文化祭の雰囲気盛り上げてくれました。



＜エントランス・ルーフバルコニーの装飾＞

エントランス・階段の装飾に加え、今年はルーフバルコニーの装飾にも挑戦していました。

カラフルなビニール傘が太陽の光を浴びて、明るく輝いていたのが印象的でした。前日は風が強くてハラハラしましたが、当日晴れてよかったですね。



＜フェスページ（デジタルパンフレット）・校内祭のライブ配信＞

はじめは「難しい…今年はやめよう…」とあきらめていたフェスページ作成や校内祭ライブ配信も、前向きな実行委員を中心に試行錯誤を重ね、無事に作成/配信することができました。さすが山吹情報科ですね。



＜山吹祭を終えた実行委員の生徒たちの感想＞

・文実楽しい！友達ができる！・やり甲斐があってとても楽しかったです！・実行委員は友達に誘われてやったけど、大変で忙しい。友達と一緒に行動するのは楽しかった。1人でやるのはおすすめしない。・来年も文化祭実行委員参加したいです！・昨年、今年と入場できる人が制限されたのが残念。次回こそ完全復活をして欲しいです!!!!!!・とても楽しい文化祭になったと思います。来年は受験なので、私は文実に参加できるかわかりませんが、参加できなくても来年の文化祭は行きたいと思います。楽しみにしています！先生方、本当にありがとうございました。

勇気を出して一步を踏み出してくれた実行委員の皆さんのおかげで、今年の文化祭もたくさんの方々に喜ばれる山吹ならではのものになりました。本当にありがとうございます。委員の皆さんは、山吹最大の行事を成功させた自分たちの頑張りに自信をもってくださいね。そして文化祭実行委員に少しでも興味を持たれた方々、来年はあなたも実行委員になってみませんか？温かい先輩方がみんなの参加を待っていますよ！

定時制課程 学校行事予定

1月10日（火）授業開始
 12日（木）避難訓練
 13日（金）自己探索学習⑧
 25日（水）午前授業（午後、入選準備）
 26日（木）入学者選抜（生徒登校禁止）
 2月6日（月）自己探索学習⑨
 17日（金）午前授業（午後、入選準備）

通信制課程 学校行事予定

1月14日（土）スクーリング2-12
 21日（土）後期試験 1日目
 28日（土）後期試験 2日目
 2月4日（土）後期試験 3日目
 18日（土）生徒相談日
 25日（土）生徒相談日
 3月4日（土）生徒相談日